

5. 不織布と織物の2,3の性質についての比較

実践女子大 平山 順之

1. 最近被服材料として不織布が各種の分野に使用されるようになり、これに伴い従来からの主要な被服材料である織物との性能上の優劣が問題となる。本研究においてはこれ等の性能について両者を比較検討して、両者の性質上の相違および、適正な用途について考察する。

2. 繊維種類および目付けの異なる各種の不織布および織物について、その荷重～伸長挙動、ドレープ性、しわ回復性等について測定をおこなう。

3. 不織布と織物ではその構造上の根本的な相違によりその物理的特性が異なる。一方被服材料として要求される特性はその用途によりかなり広範囲にわたって変化するので、両者の特性を理解する事により適材適所の使用が可能になる。